

犬抱っこ、患者の癒やしに

認定犬と飼い主が協力

美濃加茂市の病院でセラピー

犬と触れ合うことで入院患者の癒やしやリフレッシュにつなげてもらおうと、美濃加茂市古井町下古井の中脳リハビリテーション病院で21日、ドッグ・ケアセラピーが行われた。

同病院は、社会医療法人厚生会（山田實経理事長）が運営し、脳疾患や交通事故による脳損傷の後遺症の改善と社会復帰を支援する専門病院。

中部学院大短期大学部

犬と触れ合い癒やされる患者ら＝美濃加茂市古井町下古井、中脳リハビリテーション病院



（関市桐ヶ丘）社会福祉学科の横山さつき教授（60）による生涯学習講座「ドッグ・ケアセラピー」を受講し認定資格を取得した犬の飼い主でつくる、ドッグ

・ケアセラピーボランティア「わんわんふれあい隊」の8人が、訓練されたチワワやトイプードルなど小型犬8匹を伴って来院した。

市出身の男性（24）は「犬はふわふわでかわいかった。リハビリを頑張る気持ちになった」と話した。

森洋子看護部長（61）は「患者から声が上がって笑顔も見え刺激になったようだ」と述べ、今後も効果を検証しながら継続する予定。

（土屋健一）